

令和2年度病虫害発生予察情報 予報第11号（12月）

令和2年12月14日
発表：福島県病虫害防除所

1 野菜・花き

作物名	病虫害名	地方	発生時期	発生量	予報の根拠	防除上注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年よりやや低かったが、厳寒期の1～2月は施設を閉めきることにより、ほ場が低温、多湿となる（±）。	多発すると防除が困難になるので、発生初期から薬剤防除を徹底する。
	アブラムシ類	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	ハダニ類	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	①低密度時から薬剤防除を実施する。 ②抵抗性の発達が懸念されるので、殺ダニ剤の選択には注意する。 ③カブリダニ等天敵資材を放飼している場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。
	コナジラミ類	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	低密度時から薬剤防除を実施する。
	アザミウマ類	全域	－	平年並	発生ほ場割合は、平年並であった（±）。	発生状況をよく確認し、低密度時から薬剤防除を実施する。

○注意が必要な病虫害

イチゴ	<p>■土壌病害</p> <p>巡回調査では炭疽病の発生を確認しています。発病株および発病が疑われる株は、見つけ次第抜き取り、ほ場外に持ち出すなど適切に処分してください。</p>
-----	--

注) 予報の根拠の中で（+）は多発要因、（-）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。